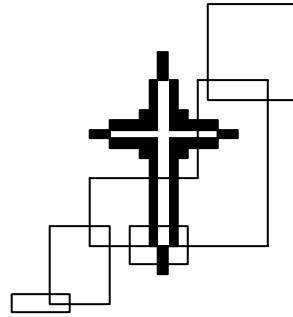


日本のための とりなし

わが国のために祈りましょう
ニュースレター 6月号
2005年6月1日発行



日本のためのとりなしの会	委員長：皆川 尚一(神奈川県)
事務局：〒228-0802	委員：友納 徳治(福岡県)
相模原市上鶴間 6-1-17 皆川方	林田 金弥(神奈川県)
TEL042-747-5703	釘宮 義人(大分県)
FAX042-746-2119	高田和彦(東京都)
http://www.Christ-ch.or.jp/	町田 誠(千葉県)
*振替：00270-7-6421	中原 耕平(千葉県)

「キリストの再臨」(第1回)

皆川尚一

「あなたの神に会う備えをせよ」
(アモス4：12)

終末の前兆

キリストの再臨について考えるとき、現代は終末の前兆がますます数多く世界的規模で起こっているということに目を留めたいと思います。これはイエスさまが、マタイによる福音書第24章で予告された通りであります。

第1に、戦争がいよいよ拡大して世界的

テロ戦争になってきました。そもそも戦いはどこからきたのでしょうか。ヤコブの手紙には人間のねたみ、党派心、高ぶりから来ていると書いてあります(ヤコブ3：14～16, 4：1～2)。

イギリスの哲学者バートランド・ラッセルは「人間には基本的な三つの欲望がある。それは食欲、性欲、権力欲である」と言っていますが、わたしはこれに「所有欲」を加えたいと思います。例えば、12世紀の初頭、東アジアのモンゴルに起きたテムジン(チンギス汗)は、「西夏の色白くかぐわしい肌の女を得たい」とい

う欲望から部族を統合して西夏を征服し、タタール、ケライトを併合し、ジンギス汗として即位しました。それから13世紀にかけて西アジアからロシア、東欧に及ぶ大モンゴル帝国を築き上げていくのです。このように、昔は世界の各地で地域的な領土争奪戦などがおこなわれました。部族紛争、国家間の紛争、国内紛争、イスラムの宗教戦争、キリスト教の十字軍、帝国主義の植民地獲得戦争、植民地解放の民族独立戦争、共産主義による帝国主義国家打倒とプロレタリア独裁世界建設を目指す戦争。アメリカ極世界樹立戦争(世界的テロ撲滅戦争)、そして、第19世紀から今日までの各種戦争の背後に国際的軍産複合体があって、戦争の火種を世界中にバラ蒔いて戦わせ、武器の商人として大儲けするという謀略が働いて来ました。これらの謀略の主(めし)はイギリスのロンドンに隠れている反キリスト(サタンの手先)だといわれます。彼とその首脳部は、共産主義崩壊を偽装しながら、人権主義、男女平等、世界的な家庭崩壊、平和主義、国家崩壊、人間崩壊、人間奴隷化、人間家畜化を広めて行こうとしています。武器による人殺しではなく、思想(イデオロギー)、学問、宗教、性欲、食欲、権力欲、所有欲、暴力、麻薬、酒、タバコ、TV、スポーツ、疫病等によって人殺しをします。反キリストの手先はローマ教皇をも動かして、表面上は

平和を説きながら、裏では共産主義者や、ヒトラーとナチスを助けたりさせました。日本でも、カトリック正義と平和の会や、プテストの平和主義の牧師たちは新左翼運動の担い手になっています。サタンは羊の皮を被ったおおかみの姿でやってきますから、だまされないように気をつけなければなりません。

第2に、天変地異も世界的に広がっています。

大地震、大津波、地震や津波については、闇の権力の謀略により、スカラー波を用いて自由に地域を選んで地震を起こすことが出来るという説があり、阪神・淡路大震災や、スマトラ沖大津波などはスカラー波によるものではとの疑いを持つ人々がいます。

*スカラー波とは、トーマス・E・バードン中佐著「ファー・デ・ランス」(2002年刊)によれば、特別に建てられた無線アンテナによって発生する電磁波兵器のことです。ロシア、アメリカはこれを持っています。中国は量子電位(QP)兵器と、ネガティブ・エナジー電磁波パルス兵器(EMP)を持っています。スカラー兵器のテクノロジーには以下の働きがあります。

気象をコントロールする。

高空のジェット気流を変える。

発射されたミサイルを探知、追跡、破壊する。

航空機を探知、追跡、破壊する。

EM爆発は巨大な火の玉、高熱、爆風を発生する。(但し放射能、死の灰なし)、陸上、海上の目標を破壊する。

爆発により、生物だけを瞬間的に凍結する。

すべての電子兵器を破壊する。

遠い所の岩盤にエネルギーを蓄積させ、断層を動かし、マグニチュード9の地震を発生させる。

このほか、台風、ハリケーン、大洪水、水、空気、その他の環境汚染、オゾン層の破壊、また、これらの原因としてうわさされる「フォトンベルト」の影響があります。「フォトンベルト」については、のちほど取り上げたいと思います。更に、不法が増すゆえに

人々の愛が冷え、憎しみが増し、盗み、強盗、殺人が毎日増えています。

第3に、福音宣教は地球上のあらゆると

ころにまで行われれました。これもイエスさまの預言の成就です。(マタイ24:14参照)

しかし、これまでキリスト教国と呼ばれてきた国々での信者数は著しく減少しています。信仰的に眠っているクリスチャンも増えています。イギリス、フランス、ドイツ、その他の古いキリスト教国はでは、活動的なクリスチャンの数が日本並みに国民総人口の1%程度に落ちています。アフリカや中国大陸などではカリスティックなクリスチャンの増加が伝えられていますが、聖霊の伝道者に混じって、B・H.のような悪霊の伝道者がアメリカ、日本、インドなどでもはやされ、その悪影響を拡大しています。偽預言、個人預言の流行も世界中に見られます。

第4に、反キリストの勢力は、世界的に

拡大し、ワン・ワールドやグローバリズムといった標語を掲げて世界的な悪魔の独裁国家を造り上げるために狂奔しています。1948年にイスラエル共和国が再建されたのも、終末の前兆の一つです。

キリストに対する憎しみと同時に、ユダヤ人に対する憎しみも世界的に増大しています。やがて、聖書の中でゴグ・マゴグと呼ばれているロシアと中国、イランなどが強大な連合軍を組織して、イスラエルの都エルサレムを攻撃しにくるだろうといううわさがあります。そこで米英伊連合軍と決戦をおこなうのがハルマゲドンの戦いであり、現在の世界はその方向にむかって動いていると多くのクリスチャンは感じているようです。また、666の数字が商品のバーコードに行き渡り、コンピューターにもwww(ヘブライ語の666)の記号が世界的にもちいられています。(黙示録13:11~18参照)

(以下、次号に続く)

地域別とりなし祈禱会

1. 北海道

札幌市 : キリスト公会 札幌グレイス教会 皆川尚一牧師
〒001-0032
札幌市北区北 32 条西 5-3-27
TEL 011-717-1801

2. 岩手県

水沢市 : ザ・リバイバル・東北祈りの家 高橋範明
〒023-0813 水沢市中町 26 レストラン・プレイズ
TEL 0134-62-3561 毎月第3日曜日 午前7時00分

3. 埼玉県

蕨市 : 蕨とりなし祈禱会 鷺谷世嗣兄
〒335-0003 蕨市南町 3-3-12
TEL0484-42-0967 毎月祝祭日午後2時

4. 東京都

東京都内 : 東京中央とりなし祈禱会 皆川尚一牧師
* 会場 早稲田奉仕園セミナーハウス(東京都新宿区西早稲田 2-3-1)
* 連絡先 〒228-0802 神奈川県相模原市上鶴間 6-1-17 皆川尚一牧師
TEL042-747-5703、FAX042-746-2119 毎月第4月曜日午後6時30分~9時

東京祈禱会 山浦もと姉
* 会場 キリスト教婦人矯風会館B - 1(新宿区百人町 2-23-5)
* 連絡先 〒350-0812 埼玉県川越市下小坂 612 主の園 3-25 山浦もと姉
TEL0492-34-7049,FAX0429-31-5552 毎月第1月曜日午後1時30分

5. 神奈川県

相模原市 : キリスト公会相模大野教会 皆川尚一牧師
〒228-0802 相模原市上鶴間 6-1-17
TEL 042-747-5726,747-5703 FAX 746-2119
URL <http://www.Christ-ch.or.jp/>
毎月第2木曜日午前10時15分

6. 長野県

小県郡 : 丸子町キリスト教会 松吉理枝子牧師
〒386-0404 長野県小県郡丸子町上丸子川原 1710 - 1
TEL 02684-2-5264 毎週水曜日午後7時30分

7. 静岡県

静岡市 : リビングウエイ・チャーチ リッキー・ゴードン師
〒420-0841 静岡市上足洗 4 丁目 6-16-7
TEL 054-248-4058 毎月第1日曜日午後2時

8. 京都府

京都市 : キョート・プレイヤーグループ シスター・ローズマリー・バス
〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル カトリック会館 3F
TEL 075-781-3330 毎週火曜日午後7時 英語の祈禱会

9. 兵庫県

高砂市 : 日本キリスト教団 高砂教会 手束正昭牧師
〒676-0015 高砂市荒井町紙町 1-34
TEL 0794-42-4854 FAX 42-4878 毎月第4水曜日午後9時30分~12時

10. 福岡県

福岡市内 : 伊都キリスト教会 友納徳治牧師
〒819-0167 福岡市西区今宿井尻 12-4-1
TEL 092-807-9080、FAX 807-2298 毎月第3水曜日7時30分

11. 大分県

別府市 : フルゴスペル イエス・キリスト教会 永野誠治牧師
〒874-0933 別府市野口元町10-1
TEL & FAX 0977-26-3692
e-mail: fg.jesus@poppy.ocn.ne.jp
毎週金曜日午後7時30分



2005年6月号祈りの焦点

(1) 継続的課題

1) 公明党が連立政権から外され、政界におけるその勢力が著しく減退するように。

又、自民党が見識を取り戻して創価学会に頼らなくなるように祈りましょう。

〔解説〕

* 創価学会は宗教カルトであるだけでなく、北朝鮮、韓国と堅く結びついている政治的勢力であり、韓国内において反日運動を盛り上げている主体でもあります。日本國憲法は政教分離を宣言しているのですから、表向きは政教分離を標榜しつつ、内実は政教一致の公明党が政界に存在するのは明確な憲法違反と言わねばなりません。彼らの正体が白日の下に晒されて暴露されるように、また日本人の創価学会信者がその正体を知って脱会するように祈りましょう。

2) カルト集団からの脱会者がキリスト教会に来て救われるように。

* 統一協会の文鮮明は北朝鮮の金正日の義兄弟であり、統一協会がかって反共を標榜していたのは偽装であったことが分かってきました。統一協会---オウム真理教(アレフ)---創価学会の関係に注目。

* その他、物見の塔エホバの証人、モルモン教、聖神中央教会などのカルトのマインドコントロールから、捕われた人々を救済するには、脱会者の働きが有効であると思われます。

3) 天皇陛下が主イエス・キリストに在って救われ、大いに祝福され、その祝福が遍く日本国民の上に及びますように。また、天皇陛下が世界の諸国民の中にあって、祝福の基として用いられますように。そして、国民が天皇陛下を先達として理解し、尊敬して、国際平和のためにつくすように祈りましょう。

* 天皇・皇后両陛下のご健康が守られ、皇室を内部から崩壊させようとしている創価学会勢力に対して毅然たる態度で伝統を守ることが出来るように。

4) 互いに批判し合い、反目し合ってきたキリスト教会とユダヤ人、カトリック、プロテスタント、そしてペンテコステ、および各教派・各教会の間に、悔い改めと和解が起るように。

5) キリスト教のインターネット伝道が進展するように祈りましょう。

〔解説〕

* 戸別訪問やビラ配りがかなり社会的に制限を受けてきた反面、ホームページやEメールを通じてのインターネット伝道は、ますます進展する見込みがあります。

ライブドアの堀江貴文氏はインターネットが普及すればマスコミは要らなくなる。全員が同じ情報を得られるようになっていと言っています。それはその通りだと思われそうですが、情報の可否を選択する側の識別力が必要となるでしょう。

6) TV・ラジオ・新聞・雑誌関係者たちがおごりと偏った報道や人権無視の取材を止め、神を畏れたフェアな在り方をするように。これらに気付いた人が抗議や訂正の声をあげ、日本の見張り人の役を果たすように祈りましょう。

〔解説〕

* NHK、その他の民放各局、五大新聞などが、今国会に上提されている「人権擁護法案」や、「外国人地方参政権付与法案」について、詳しい報道や解説を行わないのはなぜか？

7)日本に亡国の危機をもたらす少子化傾向がくい止められ、神の御心にかなった増子化対策が社会全体の祝福によって実施されるように祈りましょう。

「神は彼らを祝福して言われた、《生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ》」(創世記 1:28)。

〔解説〕

* 児童手当は現在小学校三年生までとなっていますが、もっと引き上げられることが望ましいと思われまます。

* 「親は子の世話をする、子は親の老後の世話をする」という倫理が日本社会に回復されるように。

8) 日本のために祈る「とりなし者」が増えるように祈りましょう。

* 北海道から沖縄まで、あらゆる市区町村にひとりずつ「とりなし者」が起こされるように。

(2)時宜的(タイムリーな)課題

1)小泉内閣が神を畏れ、国民の意向を無視した独裁的な政権運営を改め、日本の独立と国際平和に役立つ政治を行うように祈りましょう。

〔解説〕

政府と公明党が提出している以下の3法案が廃案になるように祈りましょう。

* 郵政民営化法案は、郵政事業を国際金融資本に売り渡す道を開くため(換言すれば日本国を売るため)の法案ですから、これが絶対に採択されないように祈ること。そして逆にこれが小泉内閣の命取りになるように祈りましょう。

* 人権擁護法案は、人道的に見えて、実は「人権擁護」を「言論弾圧」の隠れ蓑にしたものです。人権侵害があったと疑われた場合、法務省の外局に置かれる「人権委員会」が捜査礼状なしに被疑者を捜査し、拒めば処罰されます。人権擁護委員会の権限が大きすぎます。人権侵害の定義があいまいで、拡大解釈が出来ます。特定団体や、政治家への批判も規制されます。マスコミの報道が規制され、インターネットの掲示板やブログも規制されます。

* 外国人地方参政権付与法案は、在日朝鮮・韓国人が韓国籍を持ったまま、日本の地方自治体の選挙権を獲得し、公明党の票田を拡大するためのものです。

2) 日本国民全体の中にキリストの福音が広く深く受け入れられて行くように祈りましょう。

〔解説〕

* そのためには、わたしたちクリスチャンがキリストにあって霊的に向上し、喜びの人、讃美の人、感謝の人となり、愛と奉仕のわざに励んで家族や地域社会の人々から愛され、尊敬されるようになることが大切ではないでしょうか。

3) 国会祈祷会に聖霊の導きが与えられるように。

4) 北朝鮮による拉致問題の解決があくまでも外交上の最優先課題とされ、拉致被害者の家族が日本に帰って来るように。又、北朝鮮の核準備が取り除かれるように。

〔解説〕

* 日本政府は相変わらず粘り強い外交交渉によって拉致問題の解決に取り組むと言っていますが、六カ国協議は北朝鮮の戦略によって振り回されており、何時開けるかわからない有様です。政府内部に巣食う創価学会員の北側国土交通相は北朝鮮の万景峰号に新潟入港を認めました。それは船舶の保険を掛けたからだという口実ですが、保険を掛けた保険会社は遭難事故に対してきちんと補償金を支払わないことで知られている会社でした。そういう事実も確かめず

に入港許可を出したことは、非難され、正されるべきことです。

* 拉致被害者の会が内部分裂から守られ、日本国民全体から支持されるように祈りましょう。そして、国民全体の持つ拉致被害者救出への願いが、政府・自民党内の心ある人々を動かして、救出への強力な力となるように祈りましょう。

* 拉致された人々は北朝鮮の秘密を知っているので金正日は彼らを日本に返したくないのかも知れません。そうとすれば金正日政権の崩壊を祈るほかありません。

5) 北朝鮮における金正日の独裁体制が崩壊するように祈りましょう。

〔解説〕

* 国民新聞（平成16年12月25日付）によれば、韓国紙・朝鮮日報（12月2日付）は北朝鮮を脱出した同国の党・軍関係者が亡命政府をつくる構想を進めていると報じました。11月中旬、一部の関係者が東京で「反金正日国際会議」を開き来年（2005）春の日本での樹立に向けて計画策定に入ったとされます。亡命政府の代表には1997年に韓国へ逃れた黄長華（ファン・ジョンヨプ）元労働党書記が就任するものとみられます。

* 国民新聞（平成17年2月10日付）によれば、北朝鮮国内に「自由青年同志会」という反体制グループがあり、同会が秘密撮影したビデオテープが韓国で公開されたということです。

* 週刊文春（2005年6月2日号）によれば、アメリカ国内に自由北朝鮮亡命政府をつくろうとする動きが出てきたようです。その推進者は朴甲東氏（86歳）で、北朝鮮から亡命した元高官らのネットワーク「朝鮮民主統一救国戦線」の常任議長です。彼によれば、抗日戦争の伝説的英雄「金日成将軍」は終戦前すでに満州で戦死しており、その後日ソ不侵条約を一方的に破棄して満州に侵入したソ連軍に伴われて現れた「金日成」は「真っ赤な二世者」だということです。

6) ゆとり教育の見直しが極端にならないように祈りましょう。

〔解説〕

* 文部科学省はゆとり教育の見直しを打ち出しています。これは良いことだと思いますが、土曜日の復活、夏休みの短縮など、極端にならないように祈りたいと思います。少人数教育のために全国的には一兆円を越すお金がつかわれているそうです。

7) 青少年にもっと耐性が身につくように祈りましょう。

* 今の青少年にはひ弱さが目立ち、困難に耐える力が不足しています。これには、家庭生活での過保護、飲食の偏り、その他色々な原因が考えられます。

* 今、在学中からインターシップ教育（職業体験学習）が行われています。

8) 日本の農業の自給率が上向きになるように祈りましょう。

〔解説〕

* 2月20日の東京新聞によれば、食生態学研究所々長西丸震哉（しんや）氏が「これからの先進国は農業国である。工業は後進国にまかせる。ただし、これからの農業は江戸時代の方式ではだめで、会社組織でやるべきだ」とのべています。また、2月23日の東京新聞によれば、自民党の大物議員（福田、堀内、野呂田、金子の諸氏）が「農業問題を考える会」という勉強会を始めたそうです。

9)日本の経済が上向くように。又、米国資本に邦銀や郵便事業を売り渡す小泉・竹中政権の野心が打ち碎かれるように祈りましょう。

10)日本國憲法改正が神の御心にかなった方向に導かれるように。

11)イスラエルの平和のために祈りましょう。

「見よ、イスラエルを守る者は、まどろむこともなく、眠ることもない」(詩篇 121:4)

《会計報告》(2005年2月1日～3月31日)

(単位 = 円)

収 入	金 額	支 出	金 額
献 金	109,300	交 通 費 印 刷 費 資 料 費 郵 送 費 事 務 費 振替手数料 電 話 料 会 場 費	2,790 2,590 32,100 21,310 650 660 10,965 11,760
小 計	109,300	小 計	82,825
前月繰越	91,742	翌月繰越	118,217
国内活動基金 収入	0	国内活動基金 支出	0
前月繰越金	15,700	翌月繰越金	15,700
国際会議参加基金 収入	0	国際会議参加基金 支出	0
前月繰越金	35,474	翌月繰越金	35,474
合 計	252,216	合 計	252,216

【献金者芳名】(順不同)

相模大野教会(神奈川県)	2回	高砂教会(兵庫)	2回
札幌グレイス教会(北海道)	2回	ローズマリー・バス(京都)	1回
佐藤節代(神奈川県)	1回	出田秀信(熊本)	1回
吉田純江(愛知)	1回	大村哲夫(東京)	1回
吉田久子(神奈川県)	1回	匿名氏(東京)	1回
林 実(栃木)	1回		
東京中央とりなし祈祷会席上献金	2回		

【編集後記】

*2005年6月号のニュースレターをお送りします。今回のレポートは、「キリストの再臨」です。これは2回に分けて載せます。前回の予告では、「秦氏とキリシタンの土着化」を対比したレポートを載せる予定でしたが、日本に渡来する前の秦氏が朝鮮半島からもたらしたものを解明する必要を見出したので、今少し学んでからにしたいと思います。

*自由な言論を封じようとする動きが日本社会の中に目立ってきました。反体制、反カルト的な発言をする人々に対する、しつこいやがらせや、濡れ衣逮捕などが続いています。

*愛知万博を機会に、韓国からのビザなし渡航を無期限に許可する方針を政府が打ち出したようですが、日本社会に混乱と不安をもたらす人々が、大量に入ってくる恐れがありますし、カルトとの繋がりも心配です。

*この世と来るべき神の国との緊張関係の中で、キリストの御心にそって生きるために、聖霊で満たされ、御霊の知恵と知識と愛と力によってより良い道を選択して行きたいと思ひます。

*「悪をなす者のゆえに、心を悩ますな。
不義を行う者のゆえに、ねたみを起こすな。
彼らはやがて草のように衰え、
青菜のようにしおれるからである」
(詩篇 37:1～2)

(ヨハネ 皆川尚一記)

《次回日本のとりなし委員会予告》

日時：2005年6月20日(月)12時

場所：キリスト公会 相模大野教会

